



2022-23 年度 RI テーマ
IMAGINE
ROTARY
国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報



例 会：毎週金曜日
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2022-23 年度
会長：樽井 勉 副会長：渡邊博文 幹事：鈴木寿幸 副幹事：富澤賢一

例 会 第 1 4 8 7 回 早朝例会 ・ 第 1 4 8 8 回 合同新年賀詞交歓会/小杉苑

■ 藤枝 RC 会長 挨拶 鈴木邦昭君



新年あけましておめでとうございます。
三年ぶりに行動制限のない年末年始となり、家族が集まってにぎやかにお正月を過ごされた方も多いと思います。
穏やかな気持ちであたらしい一年のスタートをお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年上半期は、コロナ禍の中、会員皆様のご協力より、試行錯誤しながら休会することなく例会を開催することができましたこと、心から感謝申し上げます。
コロナ禍に円安、資源高騰、人手不足など直面する課題が多い中、回復の年にするためには、日々の問題に、スピード感をもって対応し、変化していかなくてはなりません、年が明けコロナ感染者も最多を更新するなど、いまだ終息が見えない日々が続く、当たり前はもう当たり前じゃない生活が日常化しています。
「当たり前」の対義語は「ありがたし」で、日々、身近にあるものに対して、当たり前にあるのではなく『有難い』と思える心が大切だと感じますし、それは物だけではなく、人間に対しても同じことが言えるのではないかと思います。
私達も、自分では気付かないところで様々な人に支えられて生きています。

当たり前のように近くにいる人に支えられていることに気付くことができれば、自然と感謝の気持ちが湧いてくると思います。

「当たり前のことにありがとう」と思える、その気持ちを大切に下半期のクラブ運営を心掛けていきたいと思えます。

今年も早 10 日が過ぎ、各方面で「うさぎ年」にあたり、抱負が聞こえています。

うさぎは古くから縁起が良いとして多くの場面で登場する動物で、元気に飛び跳ねる姿からは飛躍が想像され、他にも繁殖能力の高さから子孫の繁栄、ピンと立った耳から情報のキャッチ、さらに月影がうさぎに見える風習から「月＝ツキ」を呼ぶ…など、過去の自分を飛び越え、飛躍する一年にしていきたいと思います。

結びに両クラブの益々の発展と皆様にとって明るい未来を展望できる良き年となるようご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

■ 藤枝南 RC 会長 挨拶 樽井勉君



新年あけましておめでとうございます。

2022 年大晦日から、2023 年元旦にかけて、大慶寺で「除夜の鐘」を鳴らしました。

全国では、音がうるさい騒音だとかで、廃止しているお寺が多い中、藤枝市は、ご理解がある方が多くいてうれしい限りです。

前回に鐘を突いたのが、50年前の1972年ですから随分とご無沙汰でした。

50年前は、徳川家康にゆかりのある静岡市葵区の臨濟寺で鳴らしました。

当時は、鐘のすぐ横まで登り、いち、にい、さんで突き棒をゴーンとついたものでした。今回は、鐘まで登らずに、突き棒を「長ーい」ロープで下まで垂らし、そのロープを引っ張って突くというものでした。勢いが付かないので「ゴーン」という荘厳な音が出ず、「スコーン」という音で、少し物足りなさが残りましたが、藤枝南、藤枝、両クラブの飛躍を祈願し突いて参りました。

両クラブの皆様、本年も、どうぞよろしくお願ひします。



■ 出席報告

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
34/48 70.83%	42/50 84%

(1) 欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 伊藤彰君 ○稲葉君 ○植田君 ○江崎君 ○大村君
- 笠原君 ○川口君 ○佐野芳君 ○佐野博君
- 鈴木照君 ○富澤静君 ○松浦君 ○望月君 ○渡辺哲君

(2) メイクアップ者

- 富澤静雄君 (藤枝) 松浦正秋君 (地区)
- 山田壽久君 (藤枝) 渡辺哲朗君 (島田)
- 渡邊博文君 (プレPETS)



例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
1/20(金) 第1489回	会員卓話	理事会
1/27(金) 第1490回	会員卓話	小杉苑
2/3(金) 第1491回	会員卓話	理事会
2/10(金) 第1492回	奉仕プロジェクト委員会	小杉苑



(担当/杉山君)